

富谷市記者会見資料④

令和2年9月30日

経済産業部産業観光課

担当：栗村

連絡先：022-358-0524

日本ファインセラミックス株式会社富谷事業所第2及び第3工場の完成

この度、高屋敷工業団地内に立地する日本ファインセラミックス株式会社富谷事業所の第2、第3工場が完成し、下記のとおり竣工式を開催することとなりました。新工場では、パワー半導体や電子デバイスに欠かせない絶縁放熱基盤の量産を行うこととしております。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

記

1. 日時 10月2日(金) 午後2時00分～
2. 場所 富谷市高屋敷2番地
3. 式次第 (1) 開会
(2) 神事
(3) 施主・来賓挨拶
(4) 感謝状贈呈
(5) 施行者挨拶
(6) 記念品贈呈
(7) 閉会

4. 新工場概要

詳細は別紙「窒化ケイ素セラミックス製絶縁放熱基盤の量産工場が完成」をご覧ください。

5. お願い

なお、諸事情により、各種メディアを通じての情報発信は、10月5日(月)以降としていただきますようお願い申し上げます。

2020年9月30日

窒化ケイ素セラミックス製絶縁放熱基板の量産工場が完成

日本ファインセラミックス株式会社

日本ファインセラミックス株式会社（代表取締役社長 田中 宏、本社：仙台市泉区明通 3-10）は、窒化ケイ素セラミックス製絶縁放熱基板の量産化を目的に、宮城県富谷市にある同社事業所内で建設を進めていた新工場に関し、10月2日に、若生裕俊富谷市長、渡邊俊一 富谷市議会議長ほかの来賓を迎え、竣工式を執り行うこととしております。

低炭素社会、脱炭素社会の実現に向けて、現在パワーエレクトロニクス分野ではハイブリッド自動車、電気自動車、高速鉄道や、産業機器の省電力化に必要な各種機器の電力を制御するシリコン（Si）、シリコンカーバイド（SiC）をはじめとするパワー半導体、パワー半導体を搭載する回路、絶縁放熱基板、そしてこれらが一体となったパワーモジュールの開発・製品化が積極的に進められています。世界のパワー半導体市場は、2019年の約1.8兆円から2025年には約2.4兆円に達する見通しです。

パワーモジュールの性能向上のためにはパワー半導体や電子デバイスが発する熱を効率的に放熱することができる絶縁放熱基板の存在が重要となっています。当社の窒化ケイ素セラミックス製絶縁放熱基板は、高い熱伝導率（80～90W）と優れた機械的性質、絶縁性を有し、ハイブリッド自動車や電気自動車向けパワー半導体用の絶縁放熱基板として、自動車メーカーおよび回路基板メーカーから高い評価を獲得することができたことから、2018年11月に量産工場の投資を決定、今般完成を迎えました。

今後、新工場では市場の拡大に合わせながら、順次増産させていく計画であり、加えて、熱伝導率を現状の約1.5倍までに高めた絶縁放熱基板の製品化も実現していく予定です。

当社は、引き続き顧客のファインセラミックス製品に係る性能や生産量などのニーズに応えつつ、ファインセラミックス製品の開発・生産を通じて低炭素社会、脱炭素社会の実現に向けて貢献してまいります。

<ご参考>

富谷事業所 第2・3工場（絶縁放熱プレートの量産工場）の概要

施設名	日本ファインセラミックス株式会社 富谷事業所 第2工場 第3工場
施設住所	宮城県富谷市高屋敷2番地
面積	敷地：14,000平方メートル 第2・3工場：3,000平方メートル
投資額	約25億円
操業開始	2020年10月